

# 君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	日本における血液培養の陽性率と1,000患者日あたりの採取セット率、複数セット率、汚染率の実態（倫理委員会承認番号：484）
当院の研究責任者 (所属)	臨床検査科 岩間 暁子
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	済生会横浜市東部病院 感染管理対策室 副室長 大石貴幸
本研究の目的	日本における血液培養の実態は、2007年から2010年に6医療施設で調査されたデータがあるだけにすぎない。感染症診療と血液培養の精度管理上の課題を正当に評価するためには、大規模な多施設共同研究から得られたデータを基に、国内標準を明確に示す必要がある。本研究では無作為に抽出した国内の有床病院に研究協力を依頼し、施設内の血液培養に関するデータの提供を求め、日本における血液培養の陽性率と1,000患者日あたりの採取セット率、複数セット率、汚染率の実態を明らかにする。
調査データの 該当期間	2019年4月1日から2020年3月31日
研究の方法 (対象となる方)	2017年1月1日から2018年12月31日のあいだに、当院を受診し、血液培養が実施された患者様を対象とする。
研究の方法 (使用する情報)	母平均の区間推定を実施し、日本全国の血液培養の実態を推測する。 ① 血液培養陽性率 ② 1,000患者日あたりの採取セット率 ③ 複数セット率 ④ 汚染率
資料・情報の他機関 への提供	データはホームページを開設したうえで、協力病院からホームページを通じて収集する。調査により得られたデータを取扱う際は、協力病院の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができるデータは収集しない。
個人情報の取扱い	収集された資料は、個人を特定できないように処理し、済生会横浜市東部病院 感染管理対策室へ集められ解析される。 結果は医学雑誌等で公表するが、必要な情報のみ統計資料として集計するため、当院外に個人情報がでることはありません。 研究終了後、収集資料は個人を特定できない形にして保管され、他の研究等に利用される場合がある。

本研究の資金源 (利益相反)	研究全体において生じる利益相反及び研究者個人の利益相反は、当該研究の責任者（あるいは代表者）が利益相反管理基準を作り、それに従った利益相反管理計画書を毎年作成して管理を行う、
お問い合わせ先	君津中央病院 臨床検査科 岩間 暁子
備考	